

# SDGs プログラム実施レポート

## No.6「安全な水とトイレを世界中に」

### 安全な水とトイレって？

蛇口をひねるとすぐに安全な飲み水が出る水道。  
学校や公園などに整備された清潔なトイレ。日本には安全で衛生的に水を利用できる環境が整っていますが、実はこのような国は世界でも数えるほどしかありません。世界の約 22 億人が安全な飲み水を使えず、約 42 億人が安全に管理されたトイレを使えません。こうした現実を知り、子どもたちは指導員と一緒に、自分たちに何ができるのか？ 一生懸命考えました。

6 安全な水とトイレ  
を世界中に



### 子どもたちの感想・自分たちにできる事 子どもたちからの素敵なアイデア等

飲んだらダメな水を飲まなくてはいけない人がたくさんいることが分かってびっくりした。

雨が降らないと水が使えなくなるなんて、初めて知った。

水がない人はどうやって生活しているのだろう？

汚い水を飲んだりしたら  
病気になりそう。

手を洗うときは、水を出しっぱなしにせず、大事に使おうと思う。

トイレや水がある生活はあたり前だと思っていた。  
日本にいてよかったと思う。

おとなになったらトイレを作ったり井戸をつくる仕事ができたらいいなと思った。

### 支援員の気づき

『水』という身近なテーマだからか、子どもたちはとても集中していた。

水の不自由な国の子どもたちは苦勞をして水汲みに行き、泥水を生活水として使っている話を聞く表情は真剣そのもの。

「大きくなったら、井戸を掘る仕事をしたい。」と、頼もしい意見も出た。

実際に水の入ったバケツを持ち、運搬の苦勞を体験した。『こんなに大変なことを毎日するのか…』とつぶやく子どもたち。良い学びの活動になったと思う。